

パソコンいわから教室新聞

パソコンの操作に困った、ネットやプリンタの接続の設定がよくわからない、などパソコンの困りごとは多岐にわたります。そんな時の助けツールがこれ。

リモート接続

最近のパソコンには便利なアプリが付属しており、これもその一つ。パソコンをネットワーク経由で接続して、遠隔操作する機能。これがあれば、わざわざ来てもらって直接パソコンを見てもらうことをすることもなく、離れたところから操作してもらえます。

アプリは「クイックアクセス」。このアプリはウィンドウズ10のパソコンに付属しています。

使用できる条件は、OSが「ウィンドウズ10」であること、昨年の8月頃にあったアップデートが行われていること、当然、操作するパソコンがインターネットの環境下にあること、が必要です。操作する側はその条件に加えて「マイクロソフトアカウント」を持っていることが必要です。使い方は次の通り。

「クイックアクセス」を起動すると「支援を受ける」「支援を提供する」の2つのメニューがあります。

○操作する側

「支援を提供する」を選択し、マイクロソフトアカウントでログインします。

6桁のセキュリティコードが表示されるので、それを操作される側に伝えます。

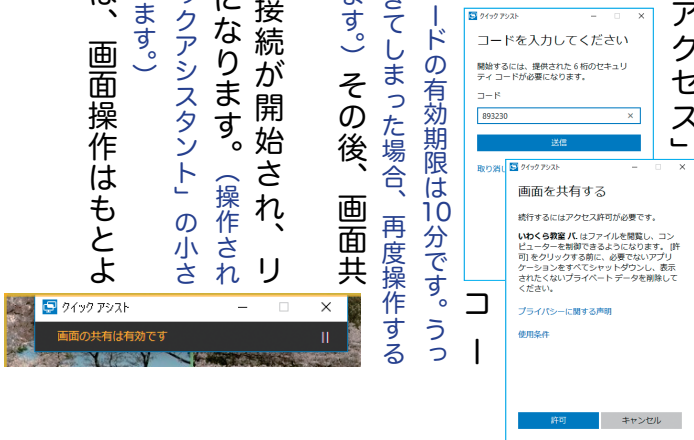
○操作される側

同じ「クイックアクセス」アプリを起動し「支援を受ける」を選択します。

伝えられた6桁のセキュリティコードを入力します。(コードの有効期限は10分です。うっかり入力まで10分が過ぎてしまった場合、再度操作する側に再発行してもらいます。)その後、画面共有を許可します。

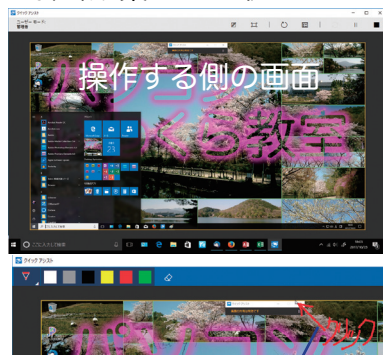
しばらくすると接続が開始され、リモート操作が可能になります。(操作される側の画面には「クイックアシスタント」の小さいウィンドウが表示されます。)

操作する側からは、画面操作はもとよ



り、画面に書ききでコメントを書くこともできます。終了は、どちら側からでも行えます。

インターネットに繋がっていれば使える機能です。パソコンの操作は言葉だけではなかなか伝わらなかつたりします。そんな時、この機能があれば「辛いところに手が届く？」かもしれない。友達や家族など困っているときに手伝ってもらいましょう。



ウィンドウズ10の付属ソフト以外でも、AnyDeskやTeamViewerといったリモート操作ツールもあり、どちらも無料で使えます。また、こちらのソフトは、OSがウィンドウズ同士でなくとも使えます。更にスマートフォン用のアプリもあり、スマートフォンからもリモート操作が可能です。



ウィンドウズ10の大型アップデートが10月に公開されています。従来同様、順次自動更新されると思います。(大型アップデートのため1〜2時間はおかると思われます)

一番の目玉更新は、写真管理ソフトの「フォト」、描画ソフトの「ペイント」の改定、スマートフォンのブラウザとの連携(スマホで見ていたページがパソコンでも継続して見られる)など様々あるようです。

パソコンも日進月歩、私達も日進月歩で行きたいものです。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month